

森のひろば

近畿中国森林管理局

大阪市北区天満橋1-8-75

〒530-0042 TEL 050-3160-6763

<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp>

森林環境教育の充実に向けて



写真：小中学校教員による「森林環境教育プログラム」体験の様子

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、昨年度作成した「森林環境教育プログラム」の普及に向けて、箕面国有林内において森林管理署等の担当職員と「森林・林業の普及に関するネットワーク」に加入する森林ボランティア団体の代表者及び箕面市等の小中学校の新任教員を対象とした「森林環境教育体験ワークショップ」を開催しました。

【関連記事は2頁】



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を使用しています(間伐材10%+古紙90%)

森林環境教育体験ワークショップを開催

～ 森林環境教育の推進のために ～

箕面森林環境保全ふれあいセンター

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、森林環境教育を推進するため、昨年度、教育関係者、教育行政担当者など専門家による検討委員会を開催し、小学校五年生をモデルとして「森林環境教育プログラム（子ども向け）」を作成しました。

このプログラムの特徴は、子ども達が間伐作業や森林観察などの体験を通して五感で森林をとらえ、それを振り返りながら、森林の役割と人とのかわりについて、自らの知識や知恵として獲得していく過程を、プログラムとしてまとめた点です。

このプログラムを普及するため、八月二三日（木）、二四日（金）の二日間にわたって、ワークショップを開催しました。

一日目は、森林管理署等の担当職員（二四名）、森林・林業の普及に関するネットワークに加入する森林ボランティア団体代表者（二一名）を対象に、検討委員会委員を講師として、森林環境教育の理論やプログラムの組み立て方のレクチャーがあり、「社会人や学生などに対する森林環境教育の展



ワークショップ1日目の様子

望」「ボランティアと学校のマッチングのためのコーディネート」など森林環境教育を進めていく上での課題等について活発な意見交換が行われました。

二日目の午前中は、大阪府箕面市の箕面国営林において、一日目の参加者に加えて小中学校の教員の方々（二八名）が参加し、七つのグループにわかれ、ネットワークの方と森林管理署等の職員が指導役、教員の方が子ども役になって、間伐、枝払い、玉切り、皮

森林環境教育プログラムの体験

伐倒、枝払い、玉切りなど一連の間伐作業を体験



体験をふりかえり思考を進化させる



体験を通じて木や森林を診る



剥などプログラムを実際に体験しました。このような活動を通じて指導役の方から「船頭が一人にならないように気を遣った」「子ども達が理解しやすいように工夫していきたい」などの感想が聞かれました。一方、子ども役(教員)の方から「なぜヒノキの切り口の中心に近い部分は乾いているのか、外側に近い部分は湿っているのか」などの質問や「森林の機能の話聞いて良かった」「ヒノキの皮を剥いて触れると水分をたくさん含んでいて、木が生きていることを実感した」などの感想が聞かれました。

午後は、近くの勝尾寺心頂閣の研修室に移動し、スライドショーによりモデル校における実践の様子を観た後、講師から、「学校で森林環境教育を進めるポイント」についてレクチャーが行われました。教員の方からは「森林が無い地域の子どもに林業の教育をするにはどうしたらいいのか」「豊中の小学校でも二期期の平日に、国有林に間伐体験を依頼できるのか」などの具体的な質問や「楽しく森と接することを第一とし、間伐を行う意味、木を育てていく意味を教えたい」などの感想が聞かれました。

今後は、ワークショップでの体験等を踏まえ、各森林管理署等段階で、プログラムの活用や普及の具体的な取組の進展が期待されています。

低コスト路網現地検討会を開催

近畿中国森林管理局では、九月十八(十九日)の二日間にわたり、岡山県新見市古谷国有林において、局管内の林業事業体、当局職員など二百二十名の参加を得て、低コスト路網現地検討会を開催しました。

近年の、地球温暖化防止に向け二酸化炭素の吸収源対策として多様で健全な森林整備が大きな課題となっており、間伐の着実な推進が不可欠ですが、間伐から生産される材の価格は必ずしも高くはなく、事業の採算性を向上させるとともに森林整備を円滑に推進していくためには、素材生産に係るトータルコストの縮減を図ることが重要な課題となっています。



説明を受ける参加者

このような状況の中、昨年は、高知県四万十町方式による道づくり技術を取り入れた現地検討会を開催したほか、管内の先進的な取組を行っている林業地の視察を繰り返し、路網作業技術の確立に向け取り組んできました。

今年度は昨年度からの取組を踏まえ、当局管内の地域の特性に応じた「近畿中国局版路網仕様書」を作成するとともに、技術開発課題として「低コスト路網を活用した効率的な間伐方法の確立」について取組を始めたほか、試行的に事業を発注したところです。



写真上：路網

写真右：木組みによる路肩

処理



写真左：間伐事業実行箇所(日が差しているところが伐採箇所)

写真右：伐採された間伐木を作業道上からロングリーチグラブにより引き出している様子



今回、現地検討会では、試行的に事業を発注した箇所において、本局版の低コスト作業路網の規格・作設方法について検討を行ったもので、事業を受注いただいた戸川木材の戸川睦徳社長から、路網の開設方法、路盤安定のため木組方法の説明のほか、路網と高性能林業機械を組み合わせた作業システムについて説明を受けました。

参加者からは、路網の作設技術の高さに感嘆するとともに、今回の検討会に参加したことで「得るものが多かった」との声が聞かれたところです。

ハイキングに出かけるには良い季節となりましたが、野山にはいろいろな危険がたくさん潜んでいます。

どんな場所に出かけるかによって注意すべき点や危険も異なりますが、次の点に注意して「安全で楽しい」ハイキングに出かけましょう！



落石や滑りやすい路面に注意しましょう！

多くの人を使うコースでも、歩きにくい場所があったり、石や岩が多くて転びやすいことがあります。特に下りはケガをしやすいので慎重に歩きましょう。

地図・コンパス(方位磁石)は必ず持って行こう！

身近なハイキングコースでも道に迷う人や、前の人とはぐれて道に迷って遭難する事故が時々発生しています。

ハイキングに適した服装を着用しましょう！

場所によっては半袖でもOKですが、できれば、長袖・長ズボンで動きやすい服装を着用しましょう。靴は登山靴かトレッキングシューズをはきましょう。

山には怖い動物がたくさんいますので注意しましょう！

奥山ではクマやイノシシ、サルに遭遇する可能性があります。(近年では里山にも出没しています)また、特に注意すべき動物はハチですが、近年ヤマビル被害が急増していますので注意が必要です。

ハチ刺され対策 自動注射器

ハチ刺されによる被害は、全国で毎年30名程度の人が亡くなっています。死亡の原因はハチ毒に起因するアナフィラキシーショックによるものです。(アナフィラキシーとは、ハチ毒や食物、薬物等が原因で起こる、急性アレルギー反応のひとつです。)

国有林では、平成7年度から治験的扱いで自動注射器を所持し、効果を上げてきました。平成15年8月からは、医師の診察・処方に基づく販売が開始されています。(自動注射器について詳しく知りたい方は、医療機関か最寄りの森林管理署等へおたずね下さい。)



ヤマビル対策

ヤマビルは円筒形で体長は2～5cm、体の前後腹面に吸盤があり、ほふく運動(尺取り虫のように)で人や動物に付着し吸血します。

吸血の際に、吸血時の痛みをなくし、血液の凝固を妨げる「ヒルジン」という物質を出すため、吸血されていることに気づかず、吸血後も傷跡から出血が続きます。

吸血されないためには？

忌避剤を靴や衣類に塗る方法があります。市販の虫除けスプレーなどでも短時間なら効果があります。(ヤマビル専用の忌避剤なら効果の持続性が高まります。)

吸血されたら？

- 1) 吸血しているヒルをすぐに除去します。無理に除去してもかまいませんが、皮膚を損傷することがあるので、たばこの火を付けたり塩をかけたりすればすぐ取れます。
- 2) 傷口から血を押し出すようにして、血と一緒に「ヒルジン」の成分を流し出す。
- 3) 抗ヒスタミン剤(虫さされ用軟膏など)を塗布し、絆創膏などで傷口をふさぐ。



山の天候は急変します。天気予報をはじめ事前に現地の情報を入手しておきましょう。

歴史ロマンと自然豊かな臥牛山国国有林

がぎゅうざん
岡山森林管理署

高梁市街地の後背地に位置する臥牛山は、古くは「松山」と呼ばれていました。江戸時代に入り、牛が伏せた姿に似ていることから「臥牛山」と呼ばれ、現在では市民の憩いの場として親しまれています。

古来、高梁は「備中の国」として高梁川流域の交通、政治、経済の中心として栄え、戦国時代は、三村、毛利の戦いの地として、尼子氏の再興を願った山中鹿之介終焉の地として



備中松山城

有名であり、関ヶ原の合戦後徳川家

康は、毛利氏から領土を取り上げ小堀遠州に備中国奉行として治めさせ、以後、藩主は水谷氏へと変遷しましたが、現存する「備中松山城」は水谷氏の時代に大修築が行われ、最後の藩主老中板倉勝静氏に至りました。また、この松山城は国指定の重要文化財として、日本一高い所にある城としても有名です。

「臥牛山国国有林」は、この城を取り囲む形で所在し、面積は一三四ヘクタールで臥牛山風景林に指定されています。

西向き斜面は、そのほとんどが一〇〇年生以上の天然林で、植生は変化に富み貴重な自然が残り、中でも「森の巨人たち百選」に指定された「臥牛山のアベマキ」は市民から親



森の巨人たち百選
臥牛山のアベマキ

しまれています。また、この一帯は天然記念物「臥牛山のサル」の生息地となっているほか、四季を通じて野鳥、昆虫が多く、岡山県内でも有数の自然観察地となっています。



臥牛山のサル

東向き斜面は、林令九〇〜一〇〇年生のヒノキ人工林が広がり、文化財修復のため必要な檜皮を、平成一五年度に岡山県内の国国有林で初めて採取しました。

備中松山城の飲料水貯水池「大池」(国史跡)付近のヒノキ人工林(面積約一ヘクタール、林令九七年生)は、平成一六年一〇月に襲来した台風二三号により風倒木被害を受け、平成一七年度に風倒木処理を行いました。現地には車道がないことや景観等に配慮して、ヘリコプターにより風倒木と周辺のヒノキ人工林間伐木(面積一・二ヘクタール、林令八六年生)の搬出を行いました。集材に当たっては、天然記念物ニホンザルの生態に配慮し、地元教育委員会等と連携を図り

ながら事業を行い、更には、被害跡地の一部に、学校植林活動の一環として、高梁市立川面小学校の児童八〇人がシバクリ、アベマキ、イロハモミジ、ヤマザクラを二五〇本植栽するなど、緑化意識の高揚を図りました。

このように臥牛山国国有林は、多種多様な機能を持つ森林であり、これからも地域住民と共に貴重な自然を守り育てていく考えです。



児童による植樹活動の様子

高梁市の観光：城下町として武家屋敷や頼久寺庭園(小堀遠州作庭)の外、ベンガラで有名な吹屋ふるさと村等があり、映画ロケ地としても有名で、「男はつらいよ」(フーテンの寅)の第八作、第三作として、また、「八つ墓村」ロケ地の広兼邸等があります。

〒七〇八・〇〇〇六
岡山県津山市小田中二二八・一
TEL 〇五〇・三一六〇・六一三五
FAX 〇八六八・三三・二二五〇
http://www.kinki_kokuyurin.go.jp/
okayama/

各署等の取組・行事の紹介

自然休養林でスタンプラリー開催

【滋賀森林管理署】大津市と栗東市にまたがる近江湖南アルプス自然休養林（一丈野地区）において、管理運営協議会（代表 宮浦富保龍 谷大学教授）の主催による「森とのふれあいスタンプラリー」が夏休み期間（七月二日～九月二日）に行われました。

管理運営協議会は、本自然休養林及び周辺区域を対象に、自然環境の保全や森林レクリエーション利用の推進を目的として今年三月に設立され、本年度活動計画に基づき普及宣伝のためにスタンプラリーを開催しました。

ユニバーサルデザインの「たまみずきの道」や「逆さ観音」など四箇所以上を回りスタンプを押して応募するもので、百名近い応募がありました。応募はがきには、ほぼ毎週散策で利用している方や、ラリーを通じて自然休養林を気に入った方などから感想が寄せられ、管理運営協議会は、これらを励み



百名近い応募

に今後も積極的に活動を展開していきます。

なお、スタンプラリーは、一丈野駐車場の駐車料金に含まれる協力を活用して実施しました。

神戸布引公園で市民ボランティアが森林教室を開催

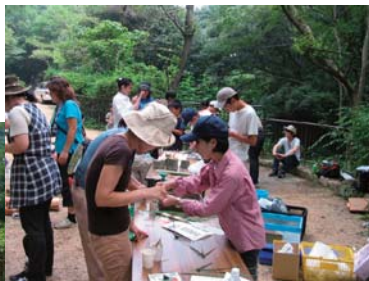
【兵庫森林管理署】七月二十九日、神戸市中央区の布引公園で市民ボランティアによる一般市民を対象とした森林教室が開催されました。

この催しは、近くの東山国有林で除伐作業などの森林ボランティアの活動をしている「森に親しむ会」が主催、兵庫森林管理署などが後援し開催されたもので、公募

による参加者のほか、ハイキング中に飛び入りで参加した人も含め四〇名余りが参加しました。

署森林インストラクターによる国有林の紹介、森林の働きや山の地図の見方、植物の話のあと、ミニチュアの椅子作りや竹ポックリ、水鉄砲、シユロの葉を折って作るバッタなどの木工クラフトを楽しみました。

暑い一日でしたが、森の木陰の中で、子供達は思い思いのものを一生懸命作っていました。なかには、作りあげた竹ポックリに乗ったまま帰る子もいました。



木工クラフトを楽しむ参加者



夏休み子ども自然観察会

【鳥根森林管理署】八月五日、大志戸国有林内「連合の森」において、連合島根主催による「二〇〇七夏休み子ども自然観察会」が二〇組約五〇名の親子が参加して行われました。

子供たちは、当署職員から森林の大切さのお話や紙芝居を見たあと、森林散策を行いました。大きなホオの木の葉っぱに大声を上げて驚いていました。

また、魚のつかみ取りでは、楽しさいっぱいで大騒ぎで、転んで服がビショビショになりながらニジマスを追っかけました。その後、自分で捕まえた魚を焼いて「おいしいね、おいしいね」の聲が飛び交っています。



職員の説明に聴き入る参加者



した。
午後からは、夏休みの絵日記作り。ヒノキの板に「今日の一ページ」と題して竹や木の実を貼り付け立派な作品が出来ました。この絵日記は夏休みの思い出として各自が記念に持ち帰りました。

**夏休み親子ふれあい1DAY
キャンプを開催**

【滋賀森林管理署】八月三日(金)、近江南アルプス自然休養林(一丈野国有林)において、公募による約六〇名の親子連れが、林内ウオーキング、トンボ採り等を通して、森林・水・生き物の関わりを楽しく学ぶイベントを龍谷大学里山オーブンプリ

サーチセンターとの共催で実施しました。

ユニバーサルデザインの遊歩道「たまみずぎの道」をウオーキングする途中では、葉っぱジャンケンやトンボ採りで自然にふれあい、ミニ森林教室を通じて琵琶湖の水の源を考え、堰堤の堆砂池で魚つかみをするなど、夏休みの一日を自然休養林で楽しく過ごしました。また、昆虫に詳しい龍谷大学の先生から、虫採り網の正しい使い方などの話や実演を受けて、子どもたちは目を輝かせていました。

なお、龍谷大学と滋賀署は、平成一七年七月に締結した覚書に基づき、今後も様々な行事・研究活動を通じて協力を深めることとしています。

たまみずぎの道：車椅子の方やベビーカーの子ども連れでも気軽に森林内の散策ができるように、ユニバーサルデザインの手法を取り入れた遊歩道で、平成一五年度に整備。名称は冬に赤い実を着けるモチノキ科の高木タマミズギが遊歩道周辺に生育していることにちなんで名付けられた。



タイ王室林野局 ラムウィライ長官ら来訪

九月四日、日本・タイ両国の森林の管理経営に関する情報交換と森林・林業分野の友好を深めることを目的に、タイ王室林野局のラムウィライ長官ほか七名が来訪し、箕面国有林の視察ならびに局幹部との森林・林業の経営についての意見交換を行いました。

タイでは、違法伐採などによる環境問題を背景に造林についての国民への普及啓発が大きな課題となっていることもあり、箕面国有林(大阪府箕面市)においては、都市近郊林における森林施業や森林ボランティア活動、森林環境教育への取組についての説明に熱心に聴き入っていました。

また、意見交換の場では、山火事や有害鳥獣の被害への対応、違法伐採に対する取り締まりなど、国有林における森林管理の手法や組織体制について高い関心を示していました。



箕面国有林を視察するラムウィライ長官ら

私の意見

温故創新・輝き再び石見銀山

島根県大田市長 竹腰 創一



石見銀山遺跡はさる七月二日、日本で一四番目の世界遺産に登録されました。

順調に進んでいた登録準備を大きく揺るがした世界遺産の審査機関による「登録延期」の勧告にもかかわらず、一挙に登録されたこともあって地元の喜びは格別なものがあります。

さて、石見銀山遺跡の世界遺産登録にあたっての最大のポイントは「産業と自然の共生」でした。

「ご存知のように鉱業は自然に負荷をかける事の多い産業であり、特に産業革命以降は、鉱石を採

掘すると山の形、地形が変わるぐらいに破壊されるのが常です。

しかし、石見銀山では銀鉱脈に沿い、自然にやさしい人力・手作業で採掘され、しかも森林資源を管理し、安定的に精錬が実施されたため、自然を大きく損じることなく、かつ共生した姿で操業を終えたために遺跡も自然の中に溶け込んだ形で残す事になりました。

これは石見銀山の最盛期が一五三〇年頃〜一六三〇年頃の約百年間であった為、その後の産業革命、西洋技術の影響を受けることが少なかったからとも言われますが、元来、自然改変を最小限に抑えつつ鉱山開発を持続させるなど、自然との共生を大切にし、山や森、自然に対する繊細な感受性、畏敬の念など、日本の先人は、環境への意識を理性

としてでなく、感性として古くから持ち合わせていたことによるものです。

このことについては、今改めて問い直さなければならぬ日本人の日本人たる、いわばDNAをみる思いがし、感動を覚ええます。

「自然を敬い、恵みをいただきながら末永く上手に付き合う」、

このことこそ「温故知新」。石見銀山に学ぶべき哲学、世界遺産として世界に発信すべきメッセージであり、これから石見銀山遺跡を守り、活かす上での基本理念だと改めて実感しております。

史跡の一部や周囲の景観を構成する重要な要素としての森林には国有林が含まれ、同様に多くの国有林を抱える国立公園三瓶山をもつ当市は、再び輝き始めました。

自然・歴史・ひとが光り輝く当市のまちづくりにとり、二箇所の国有林は極めて大きな要素であり、永く共生して行きたいと考えております。



空からの石見銀山全景：手前は大森の町並み、奥が鉱山本体



鉱山の山、仙ノ山本谷地区釜屋間歩付近。森林の中に遺跡が埋もれ、調査が続く